

# 我が国のこれからと柏の葉スマートシティについて

---

国土交通省 国土政策局総務課長 筒井 智紀

# 我が国の置かれた状況

○ 人口減少・高齢化

○ 感染症等に対する危機意識の高まり

○ インフラ等の老朽化

○ 災害の激甚化・多頻度化

○ 日本を取り巻く国際環境の変化

○ 技術革新の進展(Society5.0など)

顕在化した主なリスク・課題(7つの課題)

災害

感染症

東京一極集中

食料確保

地球環境

インフラ  
老朽化

日本の活力低下

上記のようなリスク・課題に対応する国土づくりを進めていくことで、  
防災・減災の主流化、アフターコロナ時代のしなやかで堅固な国土を構築していく

「対流促進」、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方を取り入れ、  
各地で核となる地域への集約を図りながら、それらの核をネットワークで結びつける国土づくり

## これからの目指す国土(まち)の姿

① 時間・空間・生活ともにゆとりのある豊かな暮らしが可能な国土(まち)

⇒テレワーク、シェアオフィス、ゆとりある住環境 など

② 様々な働き方や暮らし方を選択できる、自由度の高い国土

③ 多様な価値観が認められ、かつ、それら対流することで新たな価値を創造していく 魅力ある国土(まち)

⇒多様な人材の活躍・交流によるイノベーションの促進 など

④ デジタル化等の技術革新のメリットを享受した利便性の高い国土(まち)

⇒Society5.0(スマートシティ、遠隔医療等)の実現、データの活用

⑤ 国際社会の中でも、特色のある魅力的な国土(まち)

⇒個性ある地域が世界と直接交流、外国人との共生 など

# これからの国土づくりにあたって重要なポイント

## ①東京一極集中の構造から、特色ある都市が連携した国土構造へ

⇒ 各地で、特色ある街(歴史あるまち、スマートシティ など)を育てることが重要

## ②多様な主体(地域住民、大学、企業など)による地域づくりへの参加

⇒ 自治体の財政、職員数などは厳しい状況。地域のことは地域で考えることが重要

## ③人口減少化においても安全で豊かに暮らすため、データを賢く活用

⇒ 最適な交通システムの計画や、安全・安心な地域づくりには様々なデータを共有し、国民・住民に役立つ形で活用することが重要



柏の葉スマートシティの取り組みは、まさに、今後の国土づくりの方向性と合致